

対象年度		平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名		子育て広場推進事業						予算事業名		子育て広場推進事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分					
				03	02	04	2101	経常経費	根拠法令				
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業			
		1-3安心して子育てできる児童福祉の充実（児童福祉）											
		①地域と協働した子育て環境の充実						担当課係等		子ども福祉課			
3協働による子育て支援の充実						子育て支援係							
事業期間		継続（平成24年度～平成32年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
子育て中の保護者の孤立感を解消する。							子育て支援隊は，公民館で実施していた子育て講座から子育て中の保護者の気持ちを理解するようになり，その後，地域コミュニティ等において事業を実施。駅前分庁舎に次世代育成ルームができたことにより，当施設において事業を実施している。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
児童やその保護者へ集いの場を提供するため，事業実施団体に対して子育て広場推進事業補助金を支給し，駅前子ども広場を運営する。 子育て広場開設日：月曜～土曜日（10：00～16：00） 事業実施団体：子育て支援隊							児童およびその保護者						
							【事業をとりまく環境の変化】 子育て支援センターとの棲み分けができていないとの意見もあるが，当事業は登録制ではなく気軽に利用できるといった点が子育て支援センター事業と異なる点である。 また，未就学児に限らず，就学児においても「駅前子ども寺子屋」の企画を実施するなど，遊ぶ場所を広く提供している。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。				駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。				駅前子ども広場運営 ・子育て支援に関する情報を提供する。 ・保護者へ育児相談に応じる。 ・イベントを企画し，子ども同士や保護者同士の交流を図る。					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	916	950						
歳入計（千円）				916		950							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）					金額（千円）	金額（千円）						
	19 負担金補助及び交付金					916	950						
歳出計（千円）（A）				916		950							
伸び率（％）						3.71							
備考	総合計画 57ページ 予算書 91ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	年間開催日数	日	目標	300.00	300.00	300.00
			実績	295.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数（児童）	人	目標	2,109.00	2,259.00	2,409.00
			実績	2,453.00	0.00	0.00
	来館者数（保護者）	人	目標	1,706.00	1,856.00	2,006.00
			実績	1,753.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	利用している市民がいる以上、必要性がある。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	市が実施主体となるかどうか常に事業効果を含め見守る必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のところ妥当であると判断する。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	市直営で実施するよりも民間団体が実施したほうが事業コストが低い。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	必要としている市民に広く提供できている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
児童やその保護者へ集いの場を提供し、育児相談や異年齢児の交流の場として役割を果たすことができた。 未就学児に限らず、就学児においては「駅前子ども寺子屋」などの企画を実施し、遊ぶ場所を広く提供できた。 また、ファミリーサポートセンター事業実施においては、子どもの預かり場所を提供した。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか ボランティアの協力を得ながら、子育て中の保護者の孤立感解消や児童の異学年交流を支援していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 未就学児に限らず幅広く児童を受け入れており、地域で子育てをするという点では一定の効果を上げている。さらなる利用促進に向け工夫する必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。